

## 教育目標 心ゆたかでたくましい子を育てる

思いやりのある子

すすんで学ぶ子

さいごまでやりぬく子

じょうぶなからだをもった子

学校は、集団生活を行いながら、基礎的・基本的な学習を効果的に身に付けさせることです。お子さんが集団の中で楽しく学習・生活ができるように、次のようなことをご留意ください。

### 1 家庭の心がまえ

1) 家庭は安心していただける場所にしてください。

- ・何でも話せるような温かい雰囲気大切です。

2) 正しい生活習慣をしつけてください。

- ・基本的なしつけが子供を育てるいちばん大切なポイントです。

(あいさつ、言葉遣い、ルールを守る、目を見て話をする・聞く、好き嫌いなく食べる、など**保護者が手本**となって示してください。)

3) ご家族の方はゆったりと構え、お子さんに対応してください。

- ・お子さんの個性をよく見つめ、その範囲内で楽しく生活できるよう、支援してください。

・まわりの大人が { 不安をもつ  
干渉しすぎる  
期待をかけすぎる } と子供に影響して、学校に不安をもつ

場合もありますので、御配慮ください。

### 2 家庭と学校の連絡

1) 家庭からの連絡

- ・**家庭からの連絡（欠席・遅刻等も含む）は原則として、連絡帳か欠席連絡フォームでお願いします。**

欠席・遅刻等は、理由・病状等をお書きの上、兄弟姉妹、近所の友達に持たせてください。**連絡帳の活用をお願いします。**

- ・遅刻・早退の場合は**保護者が職員室まで送り迎え**してください。

2) 学校からの連絡

- ・学校からの連絡帳は、保護者をご覧になりましたら、印(サイン)をお願いします。
- ・配布されたお便りなどは必ず目を通してください。また、提出物は、期限を守るようにお願いします。
- ・お子さんの具合が悪いときは、学校より電話連絡をします。**お子さんが在校中は連絡がつくようにし、連絡を受けたら、速やかにお迎えをお願いします。**

※家庭からの連絡は「電話かFAX・欠席連絡フォーム」での対応になります。

また、忘れ物を届ける際も、職員室に声をかけ、職員に渡し、保護者が教室に届けないようにします。

# 1 学習について

## 1)学用品

- 筆箱（箱形片面開き、鉛筆削りなし）鉛筆5本（HB～2B）、消しゴム、赤の鉛筆。
- 色ペンや定規・コンパス類は学年から指示があります。
- 文具は学習に集中できるよう、飾りやゲーム性のない物にしてください。

## 2)持ち物

- **学習に関係ないものは学校に持たせないでください。**
- **持ち物や衣服には記名してください。**
- はっきりと、年、組、名前を油性マジック（黒か青）で書いてください。また、学年が上がった場合は、学年・組を書き換えてください。
- 鉛筆など細かいもの一つ一つにも書いてください。
- 登下校時のくつにも記名してください。
- ハンカチ、ティッシュは身に付けます。
- 給食用の清潔なランチクロスを毎日持たせてください。
- **給食当番は、マスクを着用します。ご家庭で準備し、5枚持たせてください。**
- うわばき、体育着、給食当番の白衣は週末に持ち帰り、洗って、週初めに持たせてください。

## 3)体育

- 見学する場合は、**保護者がその旨を連絡帳等で**、担任に連絡してください。
- 冬、寒くて体育着の上にトレーナー等着る場合は、ファスナーやボタン、フードのないものにしてください。  
※女子は、発達段階に応じて体育着の下にシャツ等を着させてください。

# 2. 安全な登下校について

## 1) 通学路を守り、安全に歩行します。

- 右側を一列で歩きます。（路側帯やガードレールは、その内側を歩きます。）
- 曲がり角で止まり、右・左を確かめます。
- 横断歩道があるところは、必ず右・左を確かめて渡ります。
- 雨の日、前が見えるように傘をさし、横に広がらずに歩きます。
- 夢中で話したり、本を読んだりしながら歩かないようにします。
- 駐車場や他人の敷地に無断で入りません。
- 学童擁護員の指示に従います。

## 2) 登校時間は必ず守りましょう

- 登校時間は、**8時15分～**です。25分には準備を終えて教室にいます。
- 登校時間前には登校しないようにさせてください。
- 登下校は、寄り道をしないで、友達と一緒に通学路を通ります。  
※下校時刻は、学年だより等で確認してください。
- 登下校は校帽をかぶります。
- 登校したら、忘れ物があっても取りに帰りません。

# 3 その他

- 帰宅してからは、忘れ物があっても学校に取りに行きません。どうしても必要な場合は、**必ず受付に声をかけ、保護者と一緒に教室まで取りに行ってください。**  
（※震災や不審者等、万が一の場合、児童だけで校舎内に入っていると危険です。児童だけで学校に来ても入れません。）

※コロナ対応のため、保護者と一緒ではなく、職員と一緒に教室まで取りに行きます。